

拠出金名：国際獣疫事務局拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(農林水産省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				649,903千円	
国際機関等名	国際獣疫事務局 (英文名称・略称) World Organization for Animal Health(OIE)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関		その他
所管官庁担当課名	農林水産省消費・安全局国際基準課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千ユーロ)	レート	ODA率(%)
平成19年度	630,179	5,262	135	1米ドル=116円 1ユーロ=147円	94.0
平成18年度	128,035	978	143	1米ドル=111円 1ユーロ=136円	69.5
平成17年度	943,226	8,633	143	1米ドル=107円 1ユーロ=136円	95.9
当該拠出金の目的・用途等	動物伝染病の防疫に関する国際会議及び研修実施、専門家派遣等				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)(注1)				国際機関等の財政 (19年度決算)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注2) (%)	当該年度の収入 3,541,445米ドル	
1位	日本	5,433	100.0	当該年度の支出 1,525,164米ドル	
2位				次年度への繰越 2,016,281米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				Marie-Pierre Cordier	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
OIEは、動物の伝染性疾患及び防疫に関する唯一の国際機関として、各国の疾病発生情報の収集・流通、動物検疫に関する国際基準の策定、新しい診断法の国際標準化などについて活発に活動しており、我が国の動物検疫及び家畜防疫の諸施策を実施するための科学・技術バックボーンとして大きく貢献している。また、WTO体制化において、OIEは家畜衛生の国際基準を策定する機関として明確に位置付けられており、加盟国はその国際基準を基本とした措置が求められていることから、OIEの役割は一層重要である。このような中で、我が国はOIE主要の拠出国として、一定の発言力を確保している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
OIEは、5年毎に活動計画を定め、当該活動計画に従って活動している。また、毎年OIEの活動状況は総会に報告され評価を受けている。近年においては、国際基準策定の強化、情報収集、提供活動の強化が行なわれている。我が国としても、これらの活動強化は重要であると考えている。					
邦人職員数 うち幹部以上	6人 うち 5人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	75人 8.0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
科学技術部部長代理		石橋朋子		OIE本部(パリ)勤務	
国際貿易部特別補佐		安宅 倭		OIE本部(パリ)勤務	
アジア太平洋地域代表		藤田陽偉		OIEアジア太平洋地域事務所勤務	
アジア太平洋地域上席次席代表		吉村史朗		OIEアジア太平洋地域事務所タイ支	
アジア太平洋地域次席代表		鎌川明美		OIEアジア太平洋地域事務所勤務	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
OIE本部への派遣については、国際的な家畜衛生に関する情報の迅速な収集、OIE活動への我が国をはじめとするアジア地域の意見の反映、我が国の国際貢献の明示のため非常に重要であり、又、OIEアジア太平洋地域事務所への派遣については、アジア太平洋地域における鳥インフルエンザの防疫、東・東南アジア地域における口蹄疫の防疫、域内での情報交換、BSEのリスク管理及び家畜衛生の向上等を牽引する立場にあり、ひいては我が国への家畜疾病の侵入防止につながることから、今後とも、邦人職員の派遣を継続する予定である。					

(注1) OIEには、複数の事業について拠出が行われており、各事業ごとにドナー国が異なるため、拠出率、拠出上位5カ国の記入は不可能。

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。